



# つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和4年8月19日

第8号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

## 小中一貫教育 野幌中学校区の取組

野幌中学校区は東野幌小学校、野幌若葉小学校、特認校である野幌小学校の3つの小学校と野幌中学校で構成される中学校区です。これまでも出前授業や走り方教室、吹奏楽部の出張演奏会等の小中で連携した取組が行われてきましたが、昨年度、新たに目指す子ども像を「夢に向かい 行動する子」と設定し、次年度の小中一貫教育の本格導入にむけて実践を積み重ねています。小中一貫教育推進委員会と拡大委員会が全体計画を立案し、学力向上・授業改善部会、児童生徒指導部会、教育課程部会、児童生徒交流部会、特別支援教育部会、CS・PTA・教育環境整備部会の6つの部会に分かれて、各種の取組を推進します。今年度は、6月14日（火）に合同研修会を開催し、4校で情報交流や推進計画の立案等を行いました。

### 中学校登校…小中連携と小小連携・交流



中学校の校長先生のお話

7月15日（金）、各小学校の6年生の児童がバス5台に分乗して野幌中学校に登校しました。初めに、体育館でオリエンテーションが行われ、中学校の校長先生から「先輩の中学1年生は、昨日までの宿泊学習での姿がたいへん素晴らしかったです。皆さんも来年からこの学校で学び、様々な分野で活躍していくことになります。今日の活動が大切な経験となるように一日を過ごしてください。」とのお話がありました。

次に、小中一貫教育推進担当の先生から「本日の交流を通して初めて会う友達のことを

知り、学習や給食当番等を協力して行ってください。」との話があり、3つの小学校で5つの「仮クラス」をつくりました。また、その日一日の「仮担任」となる小学校の先生方の楽しい自己紹介もありました。「仮クラス」に並び替えをする際には、整然とすばやく行動する子どもたちの姿が見られ、各校の最高学年としてふさわしい態度に感心しました。

その後、各教室に移動して4校時目の道徳科の授業に臨みました。自己紹介や「出会いのエクササイズ」等のグループエンカウンター活動に取り組み、初めて出会った友達との交流を深めていました。「何月生まれか?」「猫派か犬派か?」「好きな給食は?」等の質問をしあい、しだいに心がうち解けていく様子が見られました。それぞれのクラスの「仮担任」の先生方が上手に雰囲気盛り上げてくれたこともあり、緊張感が和らいでいき、教室が拍手や楽しそうな笑い声で包まれました。



グループエンカウンターで新たな友達をつくる



給食も協力・協働！

昼食も「仮クラス」で一緒に給食をとりました。小学校よりも短い給食時間ですが、協力して手早く準備を済ませ、皆で一緒に給食を食べました。

5校時目は、中学2年生の校外学習発表会に参加しました。中学生が校外学習のグループごとに分かれて、札幌市での見学・体験学習の成果を電子黒板等を使って発表してくれました。写真や図、文章、イラスト、クイズ等で構成されたプレゼンテーションはどのグループも素晴らしい内容で、6年生の子どもたちは真剣に発表を聴いていました。



中学2年生の発表

### <小学生の感想>

○ スライドは見やすく、分かりやすかったです。すごく時間がかかったのかなと思っただけで、3時間で完成させたと聞いて驚きました。私も中学校に入ったら、見やすくわかりやすい発表をしていきたいです。発表もゆっくりと聞きやすく、盛り上げてくれる人もいて、聞いていてとても楽しかったです。



6校時目は学級活動を行いました。今日一日を振り返り、どんなことを感じ、何を学んだのかを発表し合いました。



学んだことの振り返り

### <小学生の感想>

- 中学2年生の発表を聴いてどんな学習をするのか分かったし、中学校へ早く行きたいと思いました。
- 中学生がチャイムが鳴らなくてもちゃんと時間を見て行動していてすごいと思いました。
- 初めは緊張してうまく話せるか不安だったけど、クラスの皆が温かくて、来てよかったと思います。中学校に入っても仲良くしてくれるとうれしいです。
- 今回、中学校で過ごしたことで早く中学生になりたいと思いました。

子どもたちの声や様子から、今回の小中連携や小小連携・交流の取組が、子どもたちの不安や心配を緩和し、中学校進学への意欲を高めることにつながったことがわかります。

## 「先輩募集」…夏休み小学生学習支援ボランティア

野幌中学校の生徒が母校の小学校（今回は東野幌小と野幌若葉小）の「夏休み学習会」にボランティアとして参加し、小学生の学習支援を行う取組を行いました。中学生にとっては「母校への愛着を深める」「自尊感情を高める」「教えることで学習意欲の向上につなげる」ことがねらいです。また、小学生にとっては「学習がわかる」「中学生の姿を見て身近な目標もつ」ことがねらいです。

実施後の中学生のアンケートには、「教えたらしっかり理解してくれたのでとてもうれしかったです。久しぶりに小学校に来て先生方に会えたことがよかったです。」「年下の子との接し方やどう工夫したら分かりやすく教えられるかなど、初めての体験だったので、その分自分の中で新たに考えなければならないことや、工夫すべき点等、多くの発見がありました。今回の経験は、今後の生活に活かしていきたいです。」等の感想がありました。最終日の終了時には、小学生が中学生に手を振ったり、お礼の手紙書いたりする等の光景が見られ、小中学生の温かい交流が生まれた取組となりました。



野幌若葉小にて



東野幌小にて

